

当せん者エピソード

宝くじ こぼれ話

当せん者が窓口で語った 面白・びっくりシャレ話

換金手続きのため銀行の窓口にくる高額当せん者に不機嫌な人はまずいない。皆さんが上機嫌で、口も軽くいろいろと面白い話をするようだ。

千葉県の主婦K子さん（52）は今年のグリーンジャンボ宝くじ（第655回全国自治宝くじ）を10枚買って、バッグへ保管。その帰り道に友人と食事しながらお酒を飲むことに…。そのさい、飲んでいたお酒をこぼし、ひざのところで、たまたま口が開いていたバッグに…。そして、大切な宝くじ券がお酒で少し濡れてしまったそう。

さて、抽せん日の翌日に当せん番号調べをした

ところ、うれしや3等の100万円に見事、当せん。換金の窓口でKさんが言うことに「お酒で、お浄めをしたのが、よかったのかしら」だった。

もう1人、神奈川県が無職Uさん（68）の場合だ。Uさんは長年の宝くじファンで、昨年4月に第2307回関東・中部・東北自治宝くじ（春爛漫くじ）をバラで10枚購入した。その抽せん日の前日のことだ。愛車で走行中、他の車にぶつけられて交通事故にあってしまった。「ウエッ、参った！」と思っていたら、その翌日の抽せん結果で、なんと1等8,000万円に当たったのである。「車に当てられたら、宝くじにも当たった」とニコニコ顔のUさん。この種のシャレはよく聞くが、8,000万円もの大当たりで聞くとはい、びっくり。



ご当地クーちゃん
#ーフィンクーちゃん

当せん者エピソード

宝くじ こぼれ話

金色にちなんだ 夢をみた2人が大当たり

「宝くじに当たる吉夢」といわれるものがある。それは◎へびの夢◎黄金の夢◎先祖・両親の夢◎火事の夢◎ペットの夢…の5つだが、最近、金にまつわる夢をみたら「当たった」という人がいた。

千葉県に住む会社員S子さん（28）は一昨年11月に仕事で山形県に出張。そして、年末ジャンボ宝くじ（第651回全国自治宝くじ）を発売初日に山形県内の売り場で30枚購入した。このとき「今度は当たる」という予感がしたそう。というのも、前の夜に「金色の

鳥が3羽、夢に出てきた」からで「これは絶対に吉夢だ」と思ったそう。抽せんの結果は、バラで10枚買ったうちの1枚が1等の前賞1億円に当せんしたのだった。

もう1人は大阪府の会社員Iさん（34）だ。5年来の宝くじファンで、すべての宝くじに挑戦している。昨年2月に購入した第47回号のロト7を購入したKさんは、その抽せん日の前夜に「金の卵が割れる夢」をみたそう。ふだん、夢をほとんど見ないIさん。なぜか気になり、抽せん日の夜にインターネットで番号調べをしたそう。結果は1口が3等の123万3,800円に当せん。「やっぱり、あるんですね。吉夢って」と語るKさんだった。



ご当地クーちゃん
夜神楽クーちゃん